

「……」と、紅門科の敷居は高くなか受診に踏み切れないのが、私もそうでした。でも、女性専用の外来で女性の科医だけだったら、その敷居はそんなに低くなるはず。それに、今欲くなるはず。それに、今欲してわかったのですが、母の病のほとんどは、薬で、手術を必要とする可成り一部、それならば、一度で済まようと思えるのでは、男と女性のひとりです。

314